

特定非営利活動法人共同保存図書館・多摩

2014年度通常総会 報告

日時：2014年5月18日 14時から15時00分まで

会場：東京都国分寺労政会館 4階 第4会議室

司会：堀 渡(事務局)

1 理事長挨拶

多摩デポは、設立から7年目を迎えた。まだ具体的に先が見える状況ではないが、今年こそは新しい芽を出せるのではないかという状況が出てきており、期待を持っている。

何らかの形で多摩地域の図書のタイトル数を減らさないようにするという思いを堅持して、求める利用者がいれば、そこに届けられるという体制をつくっていくことを模索していきたい。

2 議長選出

事務局に一任。

座間直壯氏を選出。

3 書記及び議事録書名人の選出

議長の指名による。

書記：雨谷逸枝氏(事務局)

議事録署名人：堀越洋一郎氏、室谷好美氏

4 総会成立(定足数)の確認

正会員総数：103(個人100名、団体3団体) *本日入会者を含む

定足数(正会員総数×1÷2)：52

出席者数 合計69(本人出席25、委任状出席44)

現時点で定足数を満たしており、総会は成立。

5 議事

第一号議案と第二号議案を続けて提案する。併せて審議、承認を求めることにする。

(1) 第一号議案 2013年度事業報告承認について

説明(齊藤誠一 事務局長)

※議案書(事前に郵送配布済)に沿って説明

- ・昨年度に続き、東大和市立図書館の除籍候補資料の他自治体図書館蔵書との重複調査の一部をボランティアの参加により行った。ボランティアの方に感謝したい。応募が少なかったため、経験者に声掛けをした。
- ・図書館資料の里親探しは、87冊成立。書庫スペース逼迫のためか、欠本補充用等の図書を紹介しても受け入れを辞退されるケースが出てきた。
- ・総会記念講演ほか2回の講座と見学会1回を実施した。第19回講座当日は、大雪で交通事情が不安定だったこともあり、参加者が少なかったため、本日の総会記念講演として改めてお話しいただくこととした。
- ・図書館総合展ポスターセッションは、参加費が有料となり、誰でも参加でき活動紹介やコミュニケーションを図れる場の性格が薄れたとの判断で、参加を取りやめた。
- ・バーチャル共同保存図書館構想の調査・研究を進めるため、理事・事務局員対象の内部学習会を2回実施した。
- ・「多摩デポ通信」は第27～30号を、ブックレットは第8・9号を発行した。
- ・新しい協力者も加わり、ホームページの刷新・充実に努めている。メーリングリストについては、Yahoo グループメールの閉鎖に伴い、freeml への移転を実施した。

(2) 第二号議案 2013年度決算報告及び監査報告承認について

説明 (田中ヒロ 会計)

※議案書に沿って説明

- ・お金の出入りだけではなく、活動の状況がわかるようなものにする、ということによって昨年度よりNPO法人会計基準に則った新様式にしている。
- ・今年度も、人件費の支出は行わず、毎週事務所に行く事務局員の交通費のみ支払っている。
- ・ブックレットの印刷費には、当該年度の在庫分は計上できないため、実際の支払額とは相当の隔りがある。また、法人税などの税負担が大きい。今年度については、2012年度の活動に関するものと2013年度分とを計上しているため、特に多額になっているが、例外的な事象である。

監査報告 (浴 靖子 監事)

※配布資料「監査報告書」

適法適正に執行された旨、報告があった。

質疑

なし

採決 (第一号議案、第二号議案)

拍手多数 (承認)

第三号議案及び第四号議案についても、続けて提案し、併せて審議、承認を求める

ことにする。

(3) 第三号議案 2014年度事業計画決定について

説明 (齊藤誠一 事務局長)

※議案書に沿って説明

- ・今年で7年目に入っているが我々の求める共同保存図書館の実現には至っていない。とはいえ、必要性の認識は高まっていると判断している。今年度も引き続き必要な活動を進めていく。
- ・昨年末、神奈川県立図書館や埼玉県立図書館から多摩デポの活動について問い合わせがあったが、全国的にも共同保存を模索しているところがいくつか出てきている。東京都にも共同保存について協力を求め続けていく。
- ・国立国会図書館の電子配信が今年1月から始まっているが、地域の図書館資料の現物保存について、きちっと考えていく時が来ていると考えている。
- ・バーチャル共同保存図書館構想の調査・研究を進める。多摩地域で最後の2冊に該当する情報の抽出・データベース化事業に着手する。東京都市町村立図書館長協議会とのコンセンサスを得て進めていきたい。一方、検索ボランティアの事前登録を進め、市町村からの依頼に応えられる体制づくりを行う。今年は既に町田市のあるびあ図書館所蔵の重複調査の依頼を受けており、取り組むことにしている。図書館資料の里親探し事業も引き続き取り組む。
- ・「多摩デポ講座」「東京都多摩地域公立図書館大会への協力・参加」には、継続して取り組むとともに、今秋の全国図書館大会(東京大会)にも公募型分科会に参加を申し込む。
- ・館長協議会でも共同保存図書館実現に向けてプロジェクトチームが発足した。共同歩調がとれるよう考えていきたい。
- ・多摩デポ通信は年4回発行、多摩デポブックレット第10号、他に2012年度通常総会パネルディスカッションを中心とした資料集を作成する。
- ・ホームページでの最新情報の提供、freemlに移転したメーリングリストの活用を図る。
- ・東日本大震災の被災図書館の支援については、多摩デポの活動としてふさわしいものがあれば取り組んでいきたい。

(4) 第四号議案 2014年度活動予算決定について

説明 (田中ヒロ 会計)

※議案書に沿って説明

質疑

Q：全国図書館大会への参加は、具体的にどのような企画・内容を考えているのか。

A：基調講演及びパネルディスカッションと展示を考えている。基調講演は、「全国で県立図書館を中心に進む共同保存の取り組みについて(仮)」を予定。

採決（第三号議案、第四号議案）

拍手多数（承認）

6 議長及び書記の解任

以上

最終出席者数 71名（内訳 本人出席：26名 委任状出席：45名）